

平成 1 8 会 計 年 度

事 業 計 画

〔添付書類〕

1. 平成 18 会計年度予定貸借対照表
2. 平成 18 会計年度予定損益計算書
3. 平成 17 会計年度予定貸借対照表
4. 平成 17 会計年度予定損益計算書
5. 平成 17 会計年度業務報告書
6. 他の団体等に対して出資を行う場合における当該団体等の名称等（該当なし）
7. 平成 18 会計年度収入支出予算

放 送 大 学 学 園

平成 1 8 会 計 年 度 事 業 計 画

区 分	業 務 別 計 画																										
1 放送大学を設置し、これを運営することに関する事項	(1) 学生の募集等 以下のとおり平成18年度第2学期及び平成19年度第1学期学生募集を行い、入学者の決定を行う。																										
	区 分		入学 定員	募集期間等																							
	教養学部	平成18年度第2学期 全科履修生	15,000	6月15日～8月31日																							
		平成18年度第2学期 選科履修生, 科目履修生	40,000																								
		平成19年度第1学期 全科履修生	15,000	12月15日～2月28日																							
		平成19年度第1学期 選科履修生, 科目履修生	40,000																								
		平成18年度 集中科目履修生	—	5月1日～5月31日																							
	大学院 文化科学 研究科	平成19年度 修士全科生	500	8/25～9/14 募集期間 10/10 第1次合格者の決定(書類審査) 10/29 第2次選考(小論文) 11/18, 19 // (面接試験) 12/13 最終合格者決定																							
		平成18年度第2学期 修士選科生, 修士科目生	11,000	6月15日～8月31日																							
		平成19年度第1学期 修士選科生, 修士科目生	11,000	12月15日～2月28日																							
(注) 募集期間等は予定である。																											
なお、学費については下記のとおりとする。																											
①教養学部																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学生の種類</th> <th style="text-align: center;">入学料</th> <th style="text-align: center;">授業料</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全科履修生</td> <td style="text-align: center;">22,000円</td> <td rowspan="4" style="text-align: center; vertical-align: middle;">1単位 当たり 5,000円</td> </tr> <tr> <td>選科履修生</td> <td style="text-align: center;">8,000円</td> </tr> <tr> <td>科目履修生</td> <td style="text-align: center;">6,000円</td> </tr> <tr> <td>集中科目履修生</td> <td style="text-align: center;">4,000円</td> </tr> </tbody> </table>					学生の種類	入学料	授業料	全科履修生	22,000円	1単位 当たり 5,000円	選科履修生	8,000円	科目履修生	6,000円	集中科目履修生	4,000円											
学生の種類	入学料	授業料																									
全科履修生	22,000円	1単位 当たり 5,000円																									
選科履修生	8,000円																										
科目履修生	6,000円																										
集中科目履修生	4,000円																										
②大学院文化科学研究科																											
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">学生の種類</th> <th style="text-align: center;">検定料</th> <th style="text-align: center;">入学料</th> <th style="text-align: center;">授業料</th> <th style="text-align: center;">研究指導料</th> <th style="text-align: center;">臨床心理実習費</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>修士全科生</td> <td style="text-align: center;">30,000円</td> <td style="text-align: center;">44,000円</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">1単位 当たり 10,000円</td> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;">1単位 当たり 20,000円</td> <td style="text-align: center;">20,000円</td> </tr> <tr> <td>修士選科生</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">16,000円</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> <tr> <td>修士科目生</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">12,000円</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">—</td> </tr> </tbody> </table>					学生の種類	検定料	入学料	授業料	研究指導料	臨床心理実習費	修士全科生	30,000円	44,000円	1単位 当たり 10,000円	1単位 当たり 20,000円	20,000円	修士選科生	—	16,000円	—	—	修士科目生	—	12,000円	—	—	—
学生の種類	検定料	入学料	授業料	研究指導料	臨床心理実習費																						
修士全科生	30,000円	44,000円	1単位 当たり 10,000円	1単位 当たり 20,000円	20,000円																						
修士選科生	—	16,000円			—	—																					
修士科目生	—	12,000円	—	—	—																						

区 分	業 務 別 計 画																																		
	<p>(2) 学生の教育等</p> <p>① 学生に対して放送授業、面接授業、通信指導、研究指導、単位認定試験等を実施する。</p> <table border="1" data-bbox="467 405 1417 1989"> <tr> <td data-bbox="467 405 614 1043">放送授業</td> <td data-bbox="614 405 1417 1043"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月1日～4月28日 平成18年5月6日～7月21日 } 15週間 ・平成18年10月1日～12月28日 平成19年1月5日～1月20日 } 15週間 ・第1学期については、学部286科目、大学院65科目を放送 ・第2学期については、学部286科目、大学院66科目を放送 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月29日～5月5日及び平成18年12月29日～19年1月4日を「ゆとりの期間」として、また、平成18年7月22日～9月30日及び平成19年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として、特別講義を放送するほか、授業番組の一部を再放送 ・なお、夏季集中放送授業期間には、「司書教諭資格取得に資する科目」(5科目)、「看護師資格取得に資する科目」(5科目)を放送 </div> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1043 614 1458">面接授業</td> <td data-bbox="614 1043 1417 1458"> <ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員(客員・非常勤教員を含む。)が指導を実施(スクーリング) ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回(5週)にわたり実施 (5月～6月, 11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～7月, 10月～1月) ③集中型 連続する2～3日間に1回2時間15分の授業を5回実施 (8月, 2月) </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1458 614 1563">通信指導</td> <td data-bbox="614 1458 1417 1563"> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">(第1学期)</td> <td style="width: 30%;">平成18年6月9日</td> <td style="width: 40%;">通信指導提出期限</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成18年12月1日</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td>[(集中科目履修生)]</td> <td>平成18年8月15日</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> </table> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1563 614 1646">研究指導 (大学院)</td> <td data-bbox="614 1563 1417 1646"> <ul style="list-style-type: none"> ・研究指導を行い、第2年次の学生は修士論文等の審査を行う </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1646 614 1989" rowspan="2">単位認定 試験</td> <td data-bbox="614 1646 1417 1899"> <ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(第1学期)</td> <td>平成18年7月22日～29日</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成19年1月28日～2月4日</td> </tr> </table> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・集中科目履修生 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>「司書教諭資格取得に資する科目」</td> <td>平成18年10月20日</td> <td>単位認定レポート提出期限</td> </tr> <tr> <td>「看護師資格取得に資する科目」</td> <td>平成18年9月29日, 30日</td> <td></td> </tr> </table> </div> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="614 1899 1417 1989"> <ul style="list-style-type: none"> ・大学院文化科学研究科 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(第1学期)</td> <td>平成18年7月30日～8月1日</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成19年1月26日～27日</td> </tr> </table> </td> </tr> </table>	放送授業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月1日～4月28日 平成18年5月6日～7月21日 } 15週間 ・平成18年10月1日～12月28日 平成19年1月5日～1月20日 } 15週間 ・第1学期については、学部286科目、大学院65科目を放送 ・第2学期については、学部286科目、大学院66科目を放送 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月29日～5月5日及び平成18年12月29日～19年1月4日を「ゆとりの期間」として、また、平成18年7月22日～9月30日及び平成19年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として、特別講義を放送するほか、授業番組の一部を再放送 ・なお、夏季集中放送授業期間には、「司書教諭資格取得に資する科目」(5科目)、「看護師資格取得に資する科目」(5科目)を放送 </div>	面接授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員(客員・非常勤教員を含む。)が指導を実施(スクーリング) ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回(5週)にわたり実施 (5月～6月, 11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～7月, 10月～1月) ③集中型 連続する2～3日間に1回2時間15分の授業を5回実施 (8月, 2月) 	通信指導	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">(第1学期)</td> <td style="width: 30%;">平成18年6月9日</td> <td style="width: 40%;">通信指導提出期限</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成18年12月1日</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td>[(集中科目履修生)]</td> <td>平成18年8月15日</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> </table>	(第1学期)	平成18年6月9日	通信指導提出期限	(第2学期)	平成18年12月1日	〃	[(集中科目履修生)]	平成18年8月15日	〃	研究指導 (大学院)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導を行い、第2年次の学生は修士論文等の審査を行う 	単位認定 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(第1学期)</td> <td>平成18年7月22日～29日</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成19年1月28日～2月4日</td> </tr> </table> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・集中科目履修生 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>「司書教諭資格取得に資する科目」</td> <td>平成18年10月20日</td> <td>単位認定レポート提出期限</td> </tr> <tr> <td>「看護師資格取得に資する科目」</td> <td>平成18年9月29日, 30日</td> <td></td> </tr> </table> </div>	(第1学期)	平成18年7月22日～29日	(第2学期)	平成19年1月28日～2月4日	「司書教諭資格取得に資する科目」	平成18年10月20日	単位認定レポート提出期限	「看護師資格取得に資する科目」	平成18年9月29日, 30日		<ul style="list-style-type: none"> ・大学院文化科学研究科 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(第1学期)</td> <td>平成18年7月30日～8月1日</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成19年1月26日～27日</td> </tr> </table> 	(第1学期)	平成18年7月30日～8月1日	(第2学期)	平成19年1月26日～27日
放送授業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月1日～4月28日 平成18年5月6日～7月21日 } 15週間 ・平成18年10月1日～12月28日 平成19年1月5日～1月20日 } 15週間 ・第1学期については、学部286科目、大学院65科目を放送 ・第2学期については、学部286科目、大学院66科目を放送 <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・平成18年4月29日～5月5日及び平成18年12月29日～19年1月4日を「ゆとりの期間」として、また、平成18年7月22日～9月30日及び平成19年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として、特別講義を放送するほか、授業番組の一部を再放送 ・なお、夏季集中放送授業期間には、「司書教諭資格取得に資する科目」(5科目)、「看護師資格取得に資する科目」(5科目)を放送 </div>																																		
面接授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員(客員・非常勤教員を含む。)が指導を実施(スクーリング) ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回(5週)にわたり実施 (5月～6月, 11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～7月, 10月～1月) ③集中型 連続する2～3日間に1回2時間15分の授業を5回実施 (8月, 2月) 																																		
通信指導	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 30%;">(第1学期)</td> <td style="width: 30%;">平成18年6月9日</td> <td style="width: 40%;">通信指導提出期限</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成18年12月1日</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> <tr> <td>[(集中科目履修生)]</td> <td>平成18年8月15日</td> <td style="text-align: center;">〃</td> </tr> </table>	(第1学期)	平成18年6月9日	通信指導提出期限	(第2学期)	平成18年12月1日	〃	[(集中科目履修生)]	平成18年8月15日	〃																									
(第1学期)	平成18年6月9日	通信指導提出期限																																	
(第2学期)	平成18年12月1日	〃																																	
[(集中科目履修生)]	平成18年8月15日	〃																																	
研究指導 (大学院)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導を行い、第2年次の学生は修士論文等の審査を行う 																																		
単位認定 試験	<ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(第1学期)</td> <td>平成18年7月22日～29日</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成19年1月28日～2月4日</td> </tr> </table> <div style="border-left: 1px solid black; border-right: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・集中科目履修生 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>「司書教諭資格取得に資する科目」</td> <td>平成18年10月20日</td> <td>単位認定レポート提出期限</td> </tr> <tr> <td>「看護師資格取得に資する科目」</td> <td>平成18年9月29日, 30日</td> <td></td> </tr> </table> </div>	(第1学期)	平成18年7月22日～29日	(第2学期)	平成19年1月28日～2月4日	「司書教諭資格取得に資する科目」	平成18年10月20日	単位認定レポート提出期限	「看護師資格取得に資する科目」	平成18年9月29日, 30日																									
	(第1学期)	平成18年7月22日～29日																																	
(第2学期)	平成19年1月28日～2月4日																																		
「司書教諭資格取得に資する科目」	平成18年10月20日	単位認定レポート提出期限																																	
「看護師資格取得に資する科目」	平成18年9月29日, 30日																																		
<ul style="list-style-type: none"> ・大学院文化科学研究科 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>(第1学期)</td> <td>平成18年7月30日～8月1日</td> </tr> <tr> <td>(第2学期)</td> <td>平成19年1月26日～27日</td> </tr> </table> 	(第1学期)	平成18年7月30日～8月1日	(第2学期)	平成19年1月26日～27日																															
(第1学期)	平成18年7月30日～8月1日																																		
(第2学期)	平成19年1月26日～27日																																		

区 分	業 務 別 計 画
	<p>② 各種資格の取得に資する教育を実施する。 専修免許状，特殊教育諸学校の教諭免許状，栄養教諭免許状，看護師資格など</p> <p>③ 学生の学習意欲を高めるため，特定の科目群を履修し単位取得した学生に認証状を発行・授与する科目群履修認証制度を導入する。</p> <p>④ 他大学との単位互換を推進する。</p> <p>⑤ 海外の遠隔高等教育機関との国際交流を推進する。</p> <p>(3) 教材の作成</p> <p>① 新たに開設する授業科目の放送教材及び印刷教材を作成するとともに，特別講義を制作する。 また，地上デジタルテレビジョン放送に対応したハイビジョン番組（授業科目8科目など）を制作するとともに，特別講義の一部の番組に連動したデータ放送用コンテンツを制作する。</p> <p>② 聴覚障害者等による受講の便宜を図るため，字幕番組の制作本数を拡充する。</p> <p>③ 放送教材の二次利用の円滑化に資するため，教材作成段階において著作権処理について十分配慮するとともに，著作権処理データベースを運用し，著作権処理業務の効率化を図る。</p> <p>④ 放送教材の作成に係る経費の効率的な執行に努める。</p> <p>(4) 学習センターの運営 全国各地の学習者の身近な場所において面接による授業等を行うため，学習センターの運営を行う。また，面接授業受講機会の充実及び講義室の有効活用等に努める。</p> <p>① 面接授業の実施</p> <p>② 単位認定試験の実施</p> <p>③ ビデオ・オーディオテープの視聴学習機会の提供</p> <p>④ 学生サービス 再視聴の受付，図書の貸出，学習相談，証明書の発行等</p> <p>⑤ 当該地域の広報活動・学生募集活動</p>

区 分	業 務 別 計 画									
2 放送大学における教育に必要な放送等の実施に関する事項	(5) 施設設備の整備									
	① 長崎大学との施設合築により長崎学習センターの整備等を行う。									
	<table border="1" data-bbox="512 327 1390 492"> <thead> <tr> <th data-bbox="512 327 794 369">構造・規模</th> <th data-bbox="794 327 1102 369">放送大学面積</th> <th data-bbox="1102 327 1390 369">長崎大学分面積</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="512 369 794 448">鉄筋コンクリート造 地上4階建</td> <td data-bbox="794 369 1102 448">(左のうち3~4階部分)</td> <td data-bbox="1102 369 1390 448"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="512 448 794 492">1,680 m²</td> <td data-bbox="794 448 1102 492">1,080 m²</td> <td data-bbox="1102 448 1390 492">600 m²</td> </tr> </tbody> </table>	構造・規模	放送大学面積	長崎大学分面積	鉄筋コンクリート造 地上4階建	(左のうち3~4階部分)		1,680 m ²	1,080 m ²	600 m ²
	構造・規模	放送大学面積	長崎大学分面積							
	鉄筋コンクリート造 地上4階建	(左のうち3~4階部分)								
1,680 m ²	1,080 m ²	600 m ²								
② キャンパス・ネットワーク・システムを計画的に整備する。										
③ 教育研究に必要な機械・器具の整備及び図書・学術雑誌の充実を図る。										
(6) 授業評価の実施										
<p>授業評価システムを構築するため、平成17年度試行結果を踏まえ、調査方法（対象とする科目の範囲、実施時期等）を分析・整理のうえ、学生等による授業評価を実施する。</p>										
(1) 放送等の実施										
<p>東京放送局、前橋放送局等のテレビ（UHF）及びラジオ（FM）とともに、衛星放送（CS デジタル放送）のテレビ及びラジオにより、次のように授業番組等を放送する。</p>										
<p>また、平成18年12月から地上デジタル放送を開始し、ハイビジョン放送を実施するとともに、19年3月からさらに多チャンネル放送も実施する。</p>										
① 番組編成及び放送時間										
<table border="1" data-bbox="467 1288 1433 2049"> <thead> <tr> <th data-bbox="467 1288 799 1332">番組編成期間</th> <th data-bbox="799 1288 1433 1332">放送時間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="467 1332 799 1612"> 放送授業期間 〔平成18年4月1日~4月28日 平成18年5月6日~7月21日 平成18年10月1日~12月28日 平成19年1月5日~1月20日〕 </td> <td data-bbox="799 1332 1433 1612"> 日曜及び月曜 午前6時から午前0時まで 火曜 午前6時から翌日午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌日午前2時まで </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1612 799 1848"> ゆとりの期間 〔平成18年4月29日~5月5日 平成18年12月29日 ~平成19年1月4日〕 </td> <td data-bbox="799 1612 1433 1848"> 毎日 午前6時から午前0時まで </td> </tr> <tr> <td data-bbox="467 1848 799 2049"> 集中放送授業期間 〔平成18年7月22日~9月30日 平成19年1月21日~3月31日〕 </td> <td data-bbox="799 1848 1433 2049"> 毎日 午前6時から午前0時まで </td> </tr> </tbody> </table>	番組編成期間	放送時間	放送授業期間 〔平成18年4月1日~4月28日 平成18年5月6日~7月21日 平成18年10月1日~12月28日 平成19年1月5日~1月20日〕	日曜及び月曜 午前6時から午前0時まで 火曜 午前6時から翌日午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌日午前2時まで	ゆとりの期間 〔平成18年4月29日~5月5日 平成18年12月29日 ~平成19年1月4日〕	毎日 午前6時から午前0時まで	集中放送授業期間 〔平成18年7月22日~9月30日 平成19年1月21日~3月31日〕	毎日 午前6時から午前0時まで		
番組編成期間	放送時間									
放送授業期間 〔平成18年4月1日~4月28日 平成18年5月6日~7月21日 平成18年10月1日~12月28日 平成19年1月5日~1月20日〕	日曜及び月曜 午前6時から午前0時まで 火曜 午前6時から翌日午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌日午前2時まで									
ゆとりの期間 〔平成18年4月29日~5月5日 平成18年12月29日 ~平成19年1月4日〕	毎日 午前6時から午前0時まで									
集中放送授業期間 〔平成18年7月22日~9月30日 平成19年1月21日~3月31日〕	毎日 午前6時から午前0時まで									

区 分	業 務 別 計 画															
<p>3 前2号に掲げる業務に附帯する業務に関する事項</p>	<p>② 番組の種類</p> <table border="1" data-bbox="480 282 1444 694"> <thead> <tr> <th data-bbox="480 282 555 324"></th> <th data-bbox="555 282 783 324">番組名</th> <th data-bbox="783 282 1444 324">番組内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="480 324 555 488" rowspan="2">授業番組</td> <td data-bbox="555 324 783 367">授業番組</td> <td data-bbox="783 324 1444 367">放送大学が放送教材として使用する番組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 367 783 488">特別講義</td> <td data-bbox="783 367 1444 488">各学問分野の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="480 488 555 694" rowspan="3">告知番組</td> <td data-bbox="555 488 783 530">科目選択ガイド</td> <td data-bbox="783 488 1444 530">科目選択の方法などを紹介する番組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 530 783 613">大学の窓</td> <td data-bbox="783 530 1444 613">大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組</td> </tr> <tr> <td data-bbox="555 613 783 694">特別番組</td> <td data-bbox="783 613 1444 694">学習を進める上で参考になる話題、行事などをさまざまな形で放送する番組</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 放送設備の整備</p> <p>地上デジタルテレビジョン放送用設備（幕張演奏所設備，東京放送局設備及び前橋放送局設備等）の整備を行う。</p> <p>また，放送局の安定した運行のための，放送関連施設及び機器等の保全・管理等を行う。</p> <p>(1) 広報活動の実施</p> <p>放送大学の周知を図るとともに，学生募集活動に資するため，広報資料の作成，新聞広告等の広報活動を行う。</p> <p>また，広報活動計画を策定するための体制の充実，学園本部と学習センターとの連携協力体制の強化等，効果的な広報戦略を実施する。</p> <p>① 放送大学の周知に係る広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの充実 ・新聞、雑誌等のメディアを活用した広報の実施 ・体験入学（各学習センター）の実施 ・生涯学習フェスティバル等各種イベントへの参加 ・公開講演会（各学習センター）の実施 <p>② 平成18年度第2学期及び平成19年度第1学期学生募集に係る広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生募集ポスター，学生募集リーフレット，その他広報資料の作成 ・新聞，雑誌等のメディアを活用した学生募集広告の実施 ・生涯学習センター等公共機関への資料配付協力要請 ・政府広報，各自治体広報等広報誌の活用 		番組名	番組内容	授業番組	授業番組	放送大学が放送教材として使用する番組	特別講義	各学問分野の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組	告知番組	科目選択ガイド	科目選択の方法などを紹介する番組	大学の窓	大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組	特別番組	学習を進める上で参考になる話題、行事などをさまざまな形で放送する番組
		番組名	番組内容													
授業番組	授業番組	放送大学が放送教材として使用する番組														
	特別講義	各学問分野の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組														
告知番組	科目選択ガイド	科目選択の方法などを紹介する番組														
	大学の窓	大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組														
	特別番組	学習を進める上で参考になる話題、行事などをさまざまな形で放送する番組														

区 分	業 務 別 計 画
<p>4 その他学園の行う業務に関する事項</p>	<p>(2) 調査研究の実施</p> <p>① 視聴状況調査 放送番組の編成に対する視聴者ニーズや一般的な視聴・受信状況を把握するための調査を実施する。</p> <p>② 総合的なメディア活用の在り方に関する調査研究 通信メディアの双方向性を活かした新たな授業の提供など、総合的なメディア活用の在り方について調査研究を行う。 特に、ラジオ放送教材のインターネット配信実験（配信科目の一部について、ラジオ教材に連動したスライド（文字・静止画等）を付加し、その教育効果を評価）を実施する。</p> <p>(3) 事務電算システムの運用等</p> <p>① 各種業務システム等の運用・管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人事・給与システム，財務・会計システム，教務情報システム，図書システム，大学院研究指導支援システムの運用・管理を行う。 ・ 事務連絡用システム，電子会議システム，文書管理システム，法人文書ファイル管理システム等の運用・管理を行う。 <p>② 教務情報システムの見直し・改善 本学の教育改革への対応及び教務処理のより一層の弾力化，迅速化等を図るため，新たな教務情報システムに関する業務プロセス設計及びシステム基本設計を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生涯学習施策の推進に資するため，受託研究を実施する。 ・ 受講者の受信環境の向上のため，ケーブルテレビ事業者による再送信の拡充に努める。

添 付 書 類

1. 平成 18 会計年度予定貸借対照表
2. 平成 18 会計年度予定損益計算書
3. 平成 17 会計年度予定貸借対照表
4. 平成 17 会計年度予定損益計算書
5. 平成 17 会計年度業務報告書
6. 他の団体等に対して出資を行う場合における当該団体等の名称等（該当なし）
7. 平成 18 会計年度収入支出予算

1. 平成18会計年度予定貸借対照表

(平成19年3月31日)

資産の部

(単位：千円)

I 固定資産

1 有形固定資産

土地		3,469,887
建物	13,004,918	
減価償却累計額	△ 1,743,209	11,261,709
構築物	475,689	
減価償却累計額	△ 129,418	346,271
機械及び装置	7,264,302	
減価償却累計額	△ 1,861,895	5,402,406
工具、器具及び備品	590,182	
減価償却累計額	△ 193,517	396,665
図書		5,250,488
車両運搬具	18,133	
減価償却累計額	△ 10,669	7,463
有形固定資産合計		26,134,892

2 無形固定資産

電話加入権		3,705
電信電話専用施設利用権		2,412
水道施設利用権		1,435
電気供給施設等利用権		239
ソフトウェア		223,374
無形固定資産合計		231,167

3 投資その他の資産

長期性預金		155,170
投資有価証券		2,294,843
敷金及び保証金		346,258
投資その他の資産合計		2,796,271

固定資産合計

29,162,331

II 流動資産

現金及び預金		6,331,353
たな卸資産		3,887,300
前払費用		604
未収収益		438

流動資産合計

10,219,696

資産合計

39,382,028

負債の部

I 固定負債

資産見返補助金等	6,758,825	
資産見返負担金	1,460	
資産見返給付金	10,953	
資産見返寄附金	99,304	
退職給付引当金	306,991	
学生数等減少準備引当金	691,006	
	<hr/>	
固定負債合計		7,868,541

II 流動負債

資産見返補助金等	3,887,300	
前受金	3,241,670	
預り寄附金	36,988	
預り金	38,260	
未払金	1,332,017	
未払費用	511,530	
賞与引当金	281,326	
	<hr/>	
流動負債合計		9,329,093
負債合計		<hr/> <hr/> 17,197,635

拠出の部

I 拠出金

政府拠出金		15,894,965
-------	--	------------

II 拠出剰余金

拠出剰余金	6,794,071	
損益外減価償却累計額	△ 3,067,742	
特別修繕準備金	2,040,239	
放送大学教育振興基金	504,429	
	<hr/>	
拠出剰余金合計		6,270,997

III 利益剰余金

当期末処分利益	18,430	
(うち当期総利益)	(1,669)	
	<hr/>	
利益剰余金合計		18,430
拠出合計		22,184,393
負債拠出合計		<hr/> <hr/> 39,382,028

2. 平成 18 会計年度予定損益計算書

(自 平成18年4月1日 至 平成19年3月31日)

(単位：千円)

I 経常収益

授業料収益		5,699,628	
入学金収益		575,200	
検定料収益		60,000	
運営費補助金等収益		5,829,014	
受託研究収益		5,000	
寄附金収益		76,175	
資産見返補助金等戻入		1,886,892	
資産見返負担金戻入		167	
資産見返給付金戻入		2,214	
資産見返寄附金戻入		1,559	
財務収益			
受取利息	8,588		
有価証券利息	4,725	13,313	
雑益		83,176	
経常収益合計			14,232,341

II 経常費用

業務費		13,004,347	
一般管理費		1,226,325	
経常費用合計			14,230,672
経常利益			1,669

III 臨時利益

資産見返補助金等戻入		499	
臨時利益合計			499

IV 臨時損失

固定資産除却損		499	
臨時損失合計			499

当期純利益			1,669
当期総利益			1,669

3. 平成17会計年度予定貸借対照表

(平成18年3月31日)

資 産 の 部

(単位：千円)

I 固 定 資 産

1 有 形 固 定 資 産

土 地		3,469,887
建 物	12,225,729	
減価償却累計額	△ 1,266,486	10,959,242
構 築 物	475,689	
減価償却累計額	△ 94,444	381,245
機 械 及 び 装 置	2,094,503	
減価償却累計額	△ 1,412,594	681,908
工 具、器 具 及 び 備 品	473,998	
減価償却累計額	△ 136,977	337,020
図 書		5,146,672
車 両 運 搬 具	18,133	
減価償却累計額	△ 8,230	9,903
建 設 仮 勘 定		3,230,496
有形固定資産合計		24,216,377

2 無 形 固 定 資 産

電 話 加 入 権		3,705
電信電話専用施設利用権		3,993
水 道 施 設 利 用 権		1,603
電 気 供 給 施 設 等 利 用 権		718
ソ フ ト ウ ェ ア		279,748
無形固定資産合計		289,769

3 投 資 そ の 他 の 資 産

長 期 性 預 金		155,075
投 資 有 価 証 券		2,293,174
敷 金 及 び 保 証 金		346,258
投資その他の資産合計		2,794,507

固 定 資 産 合 計

27,300,655

II 流 動 資 産

現 金 及 び 預 金		8,844,012
た な 卸 資 産		3,656,529
前 払 費 用		604
未 収 収 益		508

流 動 資 産 合 計

12,501,654

資 産 合 計

39,802,310

負債の部

I 固定負債

資産見返補助金等	6,699,519	
資産見返負担金	1,628	
資産見返給付金	13,168	
資産見返寄附金	100,863	
預り補助金等	3,230,496	
退職給付引当金	332,484	
学生数等減少準備引当金	691,006	
	<hr/>	
固定負債合計		11,069,166

II 流動負債

資産見返補助金等	3,656,529	
前受金	3,241,670	
預り寄附金	36,987	
預り金	38,260	
未払金	3,803,098	
未払費用	511,530	
賞与引当金	297,486	
	<hr/>	
流動負債合計		11,585,563
		<hr/>
負債合計		22,654,729
		<hr/> <hr/>

抛 出 の 部

I 抛 出 金

政府抛 出 金		15,894,965
---------	--	------------

II 抛 出 剩 余 金

抛 出 剩 余 金	944,930	
損益外減価償却累計額	△ 2,253,645	
特別修繕準備金	2,040,239	
放送大学教育振興基金	504,329	
	<hr/>	
抛 出 剩 余 金 合 計		1,235,853

III 利 益 剩 余 金

当期末処分利益	16,761	
(うち当期総利益)	(669)	
	<hr/>	
利益剰余金合計		16,761
抛 出 合 計		17,147,580
		<hr/>
負債抛 出 合 計		39,802,310
		<hr/> <hr/>

4. 平成 17 会計年度 予定損益計算書

(自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)

(単位：千円)

I 経常収益

授業料収益	5,676,525	
入学金収益	667,638	
検定料収益	60,000	
運営費補助金等収益	6,059,933	
受託研究収益	26,000	
寄附金収益	18,574	
資産見返補助金等戻入	1,664,373	
資産見返負担金戻入	424	
資産見返給付金戻入	2,214	
資産見返寄附金戻入	2,163	
財務収益		
受取利息	2,565	
有価証券利息	1,808	
雑益		81,051
経常収益合計		14,263,271

II 経常費用

業務費	12,814,561	
一般管理費	1,448,040	
経常費用合計		14,262,602
経常利益		669

III 臨時利益

資産見返補助金等戻入	138,682	
資産見返負担金戻入	89	
臨時利益合計		138,771

IV 臨時損失

固定資産除却損	432	
固定資産譲渡損	138,338	
臨時損失合計		138,771

当期純利益 669

当期総利益 669

平成 1 7 会 計 年 度

5. 業 務 報 告 書

放 送 大 学 学 園

I 放送大学学園の概要

- 事業内容
- 1 放送大学を設置し、これを運営すること
 - 2 放送大学の教育に必要な放送等を行うこと
 - 3 その他必要な業務を行うこと

事務所の所在地 千葉県千葉市美浜区若葉2丁目11番地

役員の数等

定数：理事6人以上8人以内（うち常勤5人、非常勤3人以内）、監事2人（うち非常勤1人）

氏名	役職	任期	経歴
御手洗 康	理事長	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和44年7月 文部省入省 平成15年1月 文部科学事務次官 平成17年10月 放送大学学園理事長
丹保 憲 仁	理事（学長）	平成17年5月1日～ 平成19年4月30日	昭和44年4月 北海道大学教授 平成7年5月 北海道学長 平成13年5月 放送大学学長
梶野 慎 一	理事	平成18年1月1日～ 平成19年9月30日	昭和48年4月 文部省入省 平成15年8月 国家公務員共済組合連合会常務理事 平成18年1月 放送大学学園理事
二宮 洋 二	理事	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和50年4月 大蔵省入省 平成15年7月 国土交通省大臣官房審議官 平成17年6月 放送大学学園理事
鬼頭 達 男	理事	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和48年4月 郵政省入省 平成15年8月 総務省大臣官房技術総括審議官 平成17年9月 放送大学学園理事
後藤 祥 子	理事（非常勤）	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和61年4月 日本女子大学教授 平成13年4月 学校法人日本女子大学理事長・ 日本女子大学学長 平成13年7月 放送大学学園理事（非常勤）
梶山 千 里	理事（非常勤）	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和59年11月 九州大学教授 平成13年11月 九州学長 平成16年6月 放送大学学園理事（非常勤）
遠藤 利 男	理事（非常勤）	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	平成3年7月 学校法人日本放送協会学園理事長 平成5年6月 株式会社NHKエンタープライズ 21代表取締役社長 平成13年7月 放送大学学園理事（非常勤）
杉浦 哲 郎	監事	平成17年10月16日～ 平成19年10月15日	昭和49年4月 文部省入省 平成15年4月 米子工業高等専門学校長 平成17年10月 放送大学学園監事
西垣 昭	監事（非常勤）	平成17年10月1日～ 平成19年9月30日	昭和63年6月 大蔵事務次官 平成2年5月 海外経済協力基金総裁 平成10年7月 放送大学学園監事（非常勤）

教員及び職員の数 教員： 89人
職員： 253人

沿革
昭和56年 7月 放送大学学園設立
昭和58年 4月 放送大学設置
昭和59年10月 東京放送局免許
昭和59年12月 前橋放送局免許
昭和60年 4月 関東地方の一部において、テレビ・ラジオによる授業放送を開始するとともに学生を受入れ
平成 2年10月 関東地方以外において、順次ビデオ・オーディオテープを利用した授業等を行うとともに学生を受入れ
平成10年 1月 衛星放送による授業番組等の全国放送の開始
平成10年10月 全国の学習センターで全科履修生を受入れ開始
平成13年 4月 放送大学大学院設置
平成14年 4月 放送大学大学院学生受入れ
平成15年10月 特殊法人から特別な学校法人へ移行

設立に係る根拠法 放送大学学園法（平成14年12月13日法律第156号）

主管省庁名 文部科学省、総務省

審議等機関
名称 評議員会
業務内容 ・ 理事長の諮問に応じ、放送大学学園の業務の運営に関する重要事項について審議する。
・ 放送大学学園の業務の運営につき、理事長に対して意見を述べる。
構成員 【定数：20～27人 現員：26人】
(平成18年3月1日現在)

氏名	職名等
赤田英博	社団法人日本PTA全国協議会会長
安西祐一郎	学校法人慶應義塾長
飯野正子	津田塾大学長
池端雪浦	国立大学法人東京外国語大学長
井上孝美	財団法人放送大学教育振興会理事長
遠藤利男	前株式会社NHKエンタープライズ21顧問
大井田清	日本テレビ放送網株式会社技術顧問
大橋英寿	放送大学副学長
折原守	放送大学学園事務局長
柏倉康夫	放送大学副学長
梶山千里	国立大学法人九州大学長
川俣勝慶	茨城県教育委員会教育長
木村寛子	放送大学同窓会連合会副会長
小館静枝	小田原女子短期大学長
郷通子	国立大学法人お茶の水女子大学長
後藤祥子	学校法人日本女子大学理事長・日本女子大学学長
清水康敬	独立行政法人メディア教育開発センター理事長
玉川寿夫	社団法人日本民間放送連盟専務理事
丹保憲仁	放送大学長
南雲光男	日本サービス・流通労働組合連合顧問
西原浩	放送大学大阪学習センター所長
原田豊彦	日本放送協会理事・放送総局長
広瀬道貞	財団法人民間放送教育協会理事長
御手洗康	放送大学学園理事長
茂木友三郎	キッコーマン株式会社代表取締役会長・CEO
矢野弘典	社団法人日本経済団体連合会専務理事

II 事業の実施状況

1 放送大学を設置し、これを運営することに関する事項

(1) 学生の募集等

下記のとおり、平成17年度第2学期学生募集を行った。

区 分		入学定員	募 集 期 間 等
教養学部	第2学期 全科履修生	15,000	6月15日～8月31日
	第2学期 選科履修生 科目履修生	40,000	
大学院 文化科学研究科	第2学期 修士選科生 修士科目生	11,000	6月15日～8月31日

下記のとおり、平成18年度第1学期学生募集を行った。

区 分		入学定員	募 集 期 間 等
教養学部	第1学期 全科履修生	15,000	12月15日～2月28日
	第1学期 選科履修生 科目履修生	40,000	
大学院 文化科学研究科	修士全科生	500	(8/25～9/14募集) 10/4 第1次合格者の決定(書類審査) 10/23 第2次選考 (小論文) 11/12,13 " (面接試問) 12/14 最終合格者決定
	第1学期 修士選科生 修士科目生	11,000	12月15日～2月28日

このほか平成17年度集中科目履修生の募集を5月1日～31日の間行った。

(入学者数推移)

[学 部]

(単位:人)

年 度	13年度		14年度		15年度		16年度		17年度	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
全科履修生	9,282	4,283	7,184	3,713	6,488	3,989	7,694	3,909	7,535	3,570
選科履修生	15,738	5,845	12,831	5,248	11,601	5,580	12,240	5,425	13,369	5,483
科目履修生	11,766	10,910	11,046	11,650	10,900	11,074	9,474	10,116	8,306	9,496
特別聴講学生	1,074	3,861	1,101	3,832	1,065	3,723	1,067	3,424	1,513	4,011

※13年度の特別聴講学生には、研究生の数を含む。

[大学院]

(単位:人)

年 度	14年度		15年度		16年度		17年度	
	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期	1学期	2学期
修士全科生	549		498		530		524	
修士選科生	—	—	—	—	—	—	3,949	824
修士科目生	9,224	9,357	11,428	10,108	6,557	5,870	2,106	1,768
特別聴講学生	—	2	4	3	1	1	0	0

(2) 学生の教育等

- ① 平成17年度第1学期の在学者(学部87,391人、大学院7,413人)及び平成17年度第2学期の在学者(学部89,389人、大学院7,857人)に対して放送授業、面接授業、通信指導、研究指導、単位認定試験等を下記のとおり実施した。

放送授業	<ul style="list-style-type: none"> ・平成17年 4月1日～ 4月28日 } 15週間 平成17年 5月6日～ 7月21日 } ・平成17年10月1日～12月28日 } 15週間 平成18年 1月5日～ 1月20日 } ・第1学期については、学部286科目、大学院67科目を放送 ・第2学期については、学部284科目、大学院66科目を放送 <p style="text-align: center;">〔 なお、平成17年4月29日～5月5日及び平成17年12月29日～18年1月4日を「ゆとりの期間」として、また、平成17年7月22日～9月30日及び平成18年1月21日～3月31日を「集中放送授業期間」として特別講義を放送するほか、授業番組の一部を再放送 〕</p>
面接授業	<ul style="list-style-type: none"> ・学習センター等で直接教員(客員・非常勤教員を含む)が指導を実施(スクーリング) ・面接授業の種類 <ul style="list-style-type: none"> ①毎週型 週1回2時間15分の授業を毎週火～金の同曜日・同時限に5回(5週)にわたり実施 (5月～6月、11月～12月) ②土日型 連続する土曜・日曜に1回2時間15分の授業を5回実施 (4月～6月、10月～12月) ③集中型 連続する2～3日間に、1回2時間15分の授業を5回実施 (8月、2月) ・延べ2,005科目(3,248クラス)の面接授業を実施
通信指導	<ul style="list-style-type: none"> ・放送授業科目について、学期の途中に1回、一定範囲の問題を出題し、その添削を行う(通信指導の評価の結果によって単位認定試験の受験資格が与えられる) ・通信指導提出期限：平成17年 6月9日(第1学期) 平成17年12月2日(第2学期)
研究指導(大学院)	<ul style="list-style-type: none"> ・研究指導を行い、第2年次の学生は修士論文等の審査を実施
単位認定試験	<ul style="list-style-type: none"> ・教養学部 <ul style="list-style-type: none"> 平成17年7月23日～29日 (第1学期) 平成18年1月22日～28日 (第2学期) 〔 集中科目履修生 <ul style="list-style-type: none"> 「司書教諭資格取得に資する科目」 平成17年10月21日 単位認定レポート提出期限 「看護師資格取得に資する科目」 平成17年 9月24日、27日 ・大学院文化科学研究科 <ul style="list-style-type: none"> 平成17年7月31日、8月2日 (第1学期) 平成18年1月29日、1月31日 (第2学期)

また、学部において5,485人の卒業認定、大学院修士課程において436人の修了認定を行った。

(学部卒業生数推移)

15年度	16年度	17年度			17年度末累計
		第1学期	第2学期	計	
4,472人	4,829人	2,315人	3,170人	5,485人	40,599人

(大学院修了生数)

15年度	16年度	17年度			17年度末累計
		第1学期	第2学期	計	
344人	711人	10人	426人	436人	1,147人

- ② 専修免許状、特殊教育諸学校の教諭免許状、看護師資格取得など各種資格の取得に資する教育を実施した
- ③ 他大学との単位互換を下記のとおり締結している。
〔学部〕平成17年度末までに275校
〔大学院〕平成17年度末までに3校

(3) 教材の作成

- ① 平成18年度に新たに開設する授業科目学部57科目、大学院27科目について、放送教材及び印刷教材を作成するとともに特別講義36番組を制作した。
なお、このうち授業科目2科目については、ハイビジョン番組による制作を行った。
- ② 授業科目11科目について字幕を付与した。
- ③ 著作権処理データベースのプログラム開発及び過去の番組に係るデータ入力を行った。
- ④ 放送教材の作成に係る経費について、科目毎の委託経費の上限額を定めるなど、効率的な執行プロセスとした。
また、特別講義について、制作本数を縮減するなどの見直しを行った。

(4) 学習センターの運営

- ① 面接授業の実施等
学習センターにおいて、延べ2,005科目(3,248クラス)の面接授業を実施した。
また、面接授業の科目登録上限の引き上げ(3科目→5科目)や追加登録機会の増設など、面接授業受講希望者の受入れ方法を改善した。
さらに、面接授業を4時限目(18:15~20:30)に開設できるよう学習センター規程を改正するとともに、学生間の交流や学習意欲を促進するため、サークル活動や教員によるミニ講座等に供するなど講義室の有効活用を図った。
- ② 単位認定試験の実施
各学習センターにおいて下記の日程で単位試験を実施した。
・教養学部 平成17年7月23日~29日 (第1学期)
平成18年1月22日~28日 (第2学期)
・集中科目履修生
「看護師資格取得に資する科目」 平成17年9月24日、27日
・大学院文化科学研究科 平成17年7月31日、8月2日 (第1学期)
平成18年1月29日、1月31日 (第2学期)
- ③ ビデオ・オーディオテープの視聴学習機会の提供
各学習センターに放送教材を配架し、再視聴学習に供した。

- ④ 学生サービス
各学習センターにおいて、図書の出借、学習相談、証明書の発行等の業務を行った。
- ⑤ 当該地域の広報活動・学生募集活動
各学習センターにおいて、広報活動及び学生募集活動を行った。

(5) 施設設備の整備

- ① 熊本大学との施設合築による熊本学習センターの整備等を行った。

構造・規模	放送大学面積	熊本大学分面積
鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階建 2,319㎡	(左のうち2～3階部分) 1,113㎡	(地下1階・1階部分) 1,206㎡

平成18年4月1日より供用開始

- ② ネットワーク環境を改善するため、キャンパス・ネットワーク・システムの整備として、13の学習センターのパソコン等を更新した。
- ③ 教育研究に必要な機械・器具の整備を進めるとともに、図書・学術雑誌の充実を図った。

(6) 授業評価の試行

教育内容の改善に資するため、平成17年度第1学期開設科目の一部を対象として、学生等による授業評価を試行的に実施した。

2 大学における教育に必要な放送等の実施に関する事項

(1) 放送等の実施

東京放送局、前橋放送局等において、テレビ(UHF)及びラジオ(FM)により、また、衛星放送(CSデジタル放送)のテレビ及びラジオにより下記のとおり、授業番組を放送した。

① 番組編成及び放送時間

番組編成期間	放送時間
放送授業期間 平成17年 4月1日～ 4月28日 平成17年 5月6日～ 7月21日 平成17年 10月1日～ 12月28日 平成18年 1月5日～ 1月20日	日曜及び月曜 午前6時から午前0時まで 火曜 午前6時から翌日午前2時まで 水曜から土曜 午前5時15分から翌日午前2時まで
ゆとりの期間 平成17年 4月29日～5月 5日 平成17年 12月29日～18年1月4日 集中放送授業期間 平成17年 7月22日～9月30日 平成18年 1月21日～3月31日	毎日 午前6時から午前0時まで

② 番組の種類

番組名	番組内容
授業番組	授業番組 放送大学が放送教材として使用する番組
	特別講義 各学問分野の第一人者が、それぞれの専門について、自由にあるいはさらに深く掘り下げて講義する番組
告知番組	科目選択ガイド 科目選択の方法などを紹介する番組
	大学の窓 大学からの各種お知らせや学習に役立つ情報を提供する番組

特別番組	学習を進める上で参考になる話題、行事などをさまざまな形で放送する番組
大学案内	放送大学のPRと学生募集のための番組
大学院案内	大学院のPRと学生募集のための番組

(2) 放送設備の整備

放送局施設の整備等として下記を実施した。

- ① 幕張演奏所に設置する主調整装置や東京放送局に設置するデジタルTV送信機等の整備
- ② 前橋放送局のデジタルTV送信機、アンテナ等の整備
- ③ 放送局の安定した運行のための、放送関連施設及び機器等の保全・管理等

3 前2号に掲げる業務に附帯する業務に関する事項

(1) 広報活動の実施

各種広報資料の作成・配布、公開講演会の開催、新聞・雑誌・テレビを利用した広報を行うとともに、各種イベントに参加した。

- ① 放送大学の周知に係る広報活動
 - ・ホームページの充実
 - ・体験入学（各学習センター）の実施
 - ・生涯学習フェスティバル等各種イベントへの参加（平成17年10月9日～15日：鳥取県）
 - ・全国産業教育フェアへの参加（平成17年11月26日～27日：東京都）
 - ・特別講演会（各学習センター）の実施（香川、埼玉、大阪、千葉等13ヶ所 計16回）
- ② 学生募集に係る広報活動
 - ・学生募集ポスター、学生募集リーフレット、その他広報資料の作成
 - ・新聞、テレビ、雑誌等のメディアを活用した学生募集広告の実施
 - 〔テレビCM 平成17年7月15日～21日（平成17年度第2学期（10月入学））
 - 〔新聞広告（首都圏）年間6回掲載 読売、朝日新聞等 計8紙掲載（本部実施分）
 - ・生涯学習センター等公共機関への資料配付協力要請
 - ・政府広報、各自治体広報等広報誌の活用

(2) 調査研究の実施

- ① 番組モニター調査

放送大学の授業番組の制作方法及び視聴率の向上等を図るためモニター調査を実施するとともに、教員やディレクターを対象とする報告会を開催し、その結果の活用を図った。
- ② 総合的なメディア活用の在り方に関する調査研究
 - ・「今後のメディアの在り方に関する検討会議」を開催し、放送大学における今後のメディア活用に関する課題等について調査研究を行った。
 - ・この結果に基づき、ラジオ教材のインターネット配信実験を試行的に実施した。

(3) 事務電算システムの運用等

① 各種業務システムの運用

人事・給与システム、財務・会計システム、教務情報システム、図書システム、キャンパスネットワークシステム（大学院研究指導支援システムを含む。）及び文書管理システム（情報公開のための法人文書ファイル管理システムを含む。）の運用を行った。

② 教務情報システムの見直し

教務事務処理の弾力化、迅速化等を図るため、現行教務情報システムの見直しと新たなシステムの在り方について検討を行った。

③ 事務電算システム等の機器更新

人事・給与システム、図書システム及び事務連絡用システムに係る電子計算機の更新を行った。

4 その他学園の行う業務に関する事項

- ・ 「放送大学学園における地上放送の活用方策 第一次報告」を取りまとめるとともに、「地上デジタル放送の当面の活用方針」を策定した。
- ・ 受講者の受信環境の向上を図るため、ケーブルテレビ事業者による再送信の拡充を行った。
- ・ 文部科学省からの委託を受け、生涯学習施策の推進に資するため、公開講座のあり方に関する受託研究を実施した。

6. 他の団体等に対して出資を行う場合における当該団体等の名称等

該当なし

7. 平成18会計年度収入支出予算

(単位:千円)

収 入				支 出			
科 目	前 年 度 予 算 額	平 成 18 年 度 予 算 額	比 較 増 △ 減 額	科 目	前 年 度 予 算 額	平 成 18 年 度 予 算 額	比 較 増 △ 減 額
(款)事業収入				(項)管理経費			
(項)授業料及入学検定料	6,418,224	6,348,892	△ 69,332	(項)教材作成等事業費	3,614,777	3,398,831	△ 215,946
(款)事業外収入				(項)教育研究費			
(項)雑収入	127,372	194,603	67,231	(項)放送事業費	1,364,275	1,518,406	154,131
(款)補助金収入				(項)受託研究費	26,000	5,000	△ 21,000
(項)国庫補助金	11,287,254	10,611,974	△ 675,280	(項)放送大学学園施設整備費	278,356	278,356	0
(款)受託収入				(項)地上デジタル放送施設整備費	2,684,644	2,341,198	△ 343,446
(項)受託収入	26,000	5,000	△ 21,000	(項)予備費	5,000	1,000	△ 4,000
合 計	17,858,850	17,160,469	△ 698,381	合 計	17,858,850	17,160,469	△ 698,381